

令和6年度 学校経営方針

中野区立中野第一小学校長 三宅 慶進

1 学校教育目標

考える子 思いやりのある子 元気な子

心身ともに健康で知性と感性に富み、自分も人も大切にする豊かな人間性を持ち、時代と社会の変化に主体的に対応してたくましく生き、社会に貢献できる児童を地域・保護者と連携して育てる。

2 目指す学校像

児童に 保護者に 地域に 教職員に

わたしっていいね!
I'm OK!

喜びを生み出す学校

あなたもいいね!
You are OK!

子供を中心として学校・家庭・地域がつながり
それぞれのもてる力を発揮し、
地域そのものが一つの学校として教育に当たり、
愛され誇りにされ喜びを生み出す学校をつくり、
児童のよりよい成長を促す適切な支援を充実させた教育を実現する。

3 今年度の目標

(1) 豊かな人間性の育成

●今年度の目標

【自己評価を育て高める】

自信のあるところとないところを含め、自分自身にだいたい満足している児童にする。
自分と友達を大切に作る心や態度を育てる。

【他者と関わる価値を高める】

人と関わること(遊び・学習・生活)が楽しいと感じる心を育てる。

- ・令和6年度の校内研究を、特別の教科「道徳」とし、全教育活動をとおして生命や人権等を尊重する態度の育成
- ・学校いじめ防止基本方針に則った年間をとおした、いじめ未然防止の取組
- ・発達障害、特別支援教育についての理解促進(日常のかかわりと発達段階に応じた指導)
- ・ひまわり学級との交流(児童の交流と、教員のひまわり学級への授業参加・参観)
- ・「みんなのきまり」の取組と児童振り返りシートによる課題の重点化と継続した取組
- ・縦割り班活動、学年合同授業、異学年交流学習の実施
- ・保護者・地域との連携・協働を念頭に、地域人材を生かした体験学習と交流の実施

(2) 学力の向上

● 今年度の目標

【学習方法の改革】

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びを推進する。

- ・教員による学習の指導と評価、評価に基づく指導と、理解の定着
- ・家庭学習におけるタブレット学習ソフト(ミライシード)の活用、学習状況の把握と適切な指導
- ・朝読書の実施、読書推進月間(5月・11月)の設定、児童委員会による活動、「中野の100冊」の活用
- ・6年生の中間試験実施(計画的な学習計画と実行)
- ・図書とタブレット端末の特性を生かした調べ学習の推進(情報収集と適切な活用能力)
- ・「情報センター」としての学校図書館の機能整備と計画的・効果的な活用、学校図書館指導員によるレファレンスの充実

(3) 体力の向上と健康の保持増進

● 今年度の目標

【身体の健康】

運動に親しむ資質を育成し体力・運動能力を向上させる。

- ・休み時間の外遊びの奨励、体育館の開放、体力向上月間(6月・10月・2月)の実施・・・縄跳び・長縄・ランニング
- ・各種の動きを補完・補強する運動遊びの提示と取組カード(投力向上)

【心の健康】

心身の関係について理解し、楽しく明るい生活を営む態度を身に付ける。

- ・心と体の関係についての体験的学習の充実(保健・心と体)
- ・特別に支援が必要な児童への合理的配慮、特別支援教育の視点に立った環境整備・支援
- ・健康につながる食育の推進、食物アレルギーの教職員の情報共有の徹底と完全対応
- ・1年生の給食指導時間の確保
- ・スクールカウンセラー・心の教室相談員との連携

【安全な生活】

安全について理解し、自ら安全に行動する力を身に付ける。

- ・情報モラルについて全学年で生活に生きる指導を実施、SNS学校ルールの周知
- ・SOSの出し方に関する教育を全学年において発達段階に応じて系統的に実施
- ・系統的な防災体験学習の実施と家庭への啓蒙による日常的な行動の習得
- ・交通安全教室、セーフティ教室の実施と学年に応じた指導、計画的な安全指導と避難訓練の実施

4 保幼小中連携教育【二中校区】中野区立第二中学校・中野本郷小学校・中野第一小学校

保・幼・小・中の円滑な接続を図り、連携を生かして生きる力(豊かな心・学力・体力)を更に伸ばし育ていくために、近隣の保育園・幼稚園や小中連携3校の教職員が同じ方向性をもって取り組む。

教科指導や生活指導等において発達段階や学びの連続性を踏まえた意図的・計画的な指導の工夫を行い、一貫性のある継続的な指導を行うなどカリキュラム・マネジメントに努める。

➤ 目指す子供(児童・生徒)像

- ・安心して進学し、もてる力を十分発揮できる子供
- ・安心して活動し、もてる力を更に伸ばしていく子供
- ・地域を愛し地域に生きる子供
- ・中学校教員による小学校授業参観と児童観察、細かな情報共有により不登校対策を構築する。

令和5年度 学校教育に関する保護者アンケート結果

お子様は、学校生活を楽しく過ごしている。

十分 45.0%

まあ十分 45.5%

過去三か年 90%以上

学校は、特別支援教育や発達障害等に関して保護者への説明をおこなっている

不十分 7.6%

やや不十分 15.5%

わからない 23.1%

学校は、小中連携教育のねらいや様子を、保護者に分かりやすく伝えている

不十分 5.1%

やや不十分 17.3%

わからない 29.5%

学校は、オープンキャンパスや乗り入れ指導等を通して、児童に進学への安心感や、中学校への憧れの気持ちをもたせている。

わからない 37.7%

学校関係者評価委員会での意見など

- ・二中との交流が不十分な気がします
- ・小中の連携がもう少し速やかに行えるようにしてほしい。行事の重なりとか。

ライフ・ワーク・バランスを推進する。